

2019年度新入会員歓迎研修会

5月7日（火）2019年度 上伊那教育会新入会員歓迎研修会が上伊那教育会館で行われました。

はじめに上伊那教育会長 林 武司 先生から、上伊那教育会の事業や歴史、概要や大切にしていること等について説明があり、続いて、信濃教育会 宮下 宏 様から、お祝いの言葉をいただきました。新入会員代表として中川西小学校校長 望月 秀明 先生からお礼の言葉の後、懇親茶話会になりました。



①上伊那教育会は、教育の基本理念を「はじめに子どもありき」「限りなき土着性の追求」「たゆまぬ教師の研鑽」に置き、明治12年県に先駆けて創設以来、職能研修団体として一世紀を超え独自に歩み続けてきた団体である。職能研修団体である上伊那教育会のすべての事業は、教職員としての資質向上を目指す研修の場。

②上伊那教育会では、研修事業を非常に大事にしている、三大研修（哲学研修、文学研修、授業研修）と呼ばれている特徴的な研修事業がある。

③上伊那地域の紹介；自然の素晴らしさ「中央・南アルプスの景観」、食べ物「ローメン・馬刺し・そば…」、銘酒(8種)、珍味の紹介。
(伊那教育会長 林 武司 先生)

上伊那教育会は数多くの素晴らしい先輩諸氏を輩出していて、地にも人にも恵まれた様々な学びの機会がある地域です。永きに渡って受け継がれてきた伝統、未来に引き継がれていく創造が教育会の中で営まれています。毛涯章平先生の言葉に「教師は親ではない、兄弟でもない、友だちでもない、ガキ大将でもない、でもその全てでありたい」という言葉に深い教育愛を感じさせられます。



*職能研修、研修調査事業、生涯学習振興事業、災害見舞金事業の事業紹介がありました。

(宮下 宏 信濃教育会 教科用図書研究部 部長)

穏やかな土地柄、子どもたちは温かさ、穏やかさ、素直さを感じる。地域の方はそこがよさでもあり欠点だという。消極的、自分たちで高めていく欲を感じないなどをあげられたが、そこが今学校に求められていることだと感じた。子どもたちを中心に据えて「子どもを中心に 上伊那は一つ」力を合わせて行きたいと決意したい。これから生きていく子どもたちのため、よりよく生きていくために学校でできること、やるべき事を学校関係者で共通理解をしてすすんでいきたい。
(中川西小学校校長 望月 秀明 先生)



87名の新入会員が参加、近くに座った会員同士会話が弾み、以下のような感想をいただきました。



○ 新入会員の方がたくさんいて励みになると共に、お話できてよかった。
○ 昔、教科担任だった先生に会えてビックリしました。教員になったことを喜んでくれて嬉しかったし、一層頑張ろうと思った。
○ 同じ初任者の先生とお話できてうれしかった。次の初任研で会うのが楽しみになった。



